

Ⅲ 区民の皆さまのご意見・ご要望を区政に活かします

区は、区民の皆さまの意見やご要望を把握し、的確に施策へ反映することで、区民満足度の向上を図っています。

ここでは、平成22年度に実施した「大田区政に関する世論調査※2」の中から区民の皆さまのご要望の一部を紹介するとともに、それに関連する主な事業の22年度の実施状況をお知らせします。

(1) 区民の皆さまからの要望

高齢者対策

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らしていくために、特にどのような施策が必要だと思いますか（上位3つ）。

○「在宅の寝たきり高齢者を介護している家族等への支援」（55.8%）が5割半ばと最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する見守りやひきこもりの防止」（38.7%）、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設の整備」（37.7%）、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅の介護保険サービス」（35.8%）の順となっています。

→関連する主な事業（P.13～15 参照）

- ・ 家族介護者への支援
- ・ 地域の見守り体制の整備
- ・ 介護保険施設等の整備支援
- ・ 高齢者の就労促進・起業支援
- ・ 介護予防の促進
- ・ さわやかサポート（地域包括支援センター）の拡充と福祉ネットワークの強化
- ・ 高齢者総合相談体制の構築
- ・ 高齢者緊急一時保護・支援体制の整備
- ・ 高齢者等の権利擁護の推進

【用語解説】大田区政に関する世論調査※2
 調査時期：平成23年1月17日～2月4日
 調査対象：大田区内に居住する満20歳以上の男女個人2,000人（層化二段無作為抽出法）
 調査方法：郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパーソナルコンピュータシステムから回答フォームをダウンロードし、メールによる回収も実施。
 回収数：1,195件（59.8%）

国際化推進

地域の外国人と理解しあい、共に生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進するために、区の対応としてどのような取り組みが必要だと思いますか（いくつでも）。

- 「日本の文化や生活情報を多様な言語で知らせる」（43.6%）が最も高く、次いで「日本人と外国人の交流会やイベントを開く」（38.0%）、「外国人への偏見・差別をなくすための努力を行う」（32.9%）、「外国人が区へ意見や提案をしやすい手段・方法・システムなどを考える」（31.8%）、「日本人と外国人の意見交換会や話し合いの場を設ける」（28.6%）、「外国の文化や生活情報を紹介する」（25.8%）の順となっています。

→関連する主な事業（P.16 参照）

- ・多文化共生推進センターの整備
- ・外国人のための日本語教室の充実
- ・身近な暮らし情報の発信

自治会等の地域活動について

地域活動を活発にするために、行政がどのような支援をしたらよいと思いますか（上位3つ）。

- 「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」（50.4%）が最も高く、次いで「地域のイベントの開催など住民同士の交流のきっかけづくり」（43.8%）、「活動費への助成」（35.7%）、「活動場所の提供や機材などの貸し出し」（27.6%）の順となっています。

→関連する主な事業（P.17 参照）

- ・NPO・区民活動フォーラムの開催
- ・区民活動情報サイトの整備・活用
- ・地域活性化事業への支援
- ・区民活動・地域活動を支援する拠点の整備
- ・自治会・町会会館の整備助成

子育て関連施設の整備

今後、安心して子どもを育てるために区が優先して進めるべきだと思う施策は何ですか（上位3つ）。

- 「保育所や学童保育など子どもの預かり施設数の拡充」（70.5%）が7割を超え最も高く、次いで「子育てと就労の両立支援」（47.1%）、「保育所や学童保育など子どもの預かり施設の質の向上」（42.9%）、「医療費や手当などの経済的支援」（38.5%）などの順となっています。

→関連する主な事業（P.18 参照）

- ・家庭福祉員制度の充実
- ・認証保育所支援
- ・区立保育園の改築・改修の推進
- ・女性の就労支援（再チャレンジ等）
- ・学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実

特に力を入れてほしい施策

大田区の施策の中で、特に何に力を入れてほしいと思いますか（いくつでも）。
その中でも、最も力を入れてほしいと思う施策はなんですか（1つだけ）。

- 特に何に力を入れてほしいと思う施策で、最も高いのは「高齢者対策」（52.5%）で半数以上を占めています。次いで、「防災対策」（36.4%）、「道路の整備」（36.2%）と3割以上の項目が続きます。

- 最も力を入れてほしいと思う施策で、最も高いのは「高齢者対策」（18.4%）、次いで、「道路の整備」（7.8%）、「防災対策」（6.8%）の順となっています。

→関連する主な事業（P.19～20 参照）

- ・地域防災活動の支援
- ・防災情報基盤の整備
- ・橋梁の耐震性の向上
- ・身近な地域の魅力づくり
- ・都市計画道路の整備
- ・京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備
- ・呑川緑道の整備
- ・桜のプロムナードの整備

(2) 主な事業の平成 22 年度実施状況

高齢者対策

事業名	内容	決算額 (円)
家族介護者への支援	<p>ショートステイ整備に向け候補地を選定し、事業計画の検討を行いました。</p> <p>家族介護者に対する介護方法の指導や健康相談等を実施したほか、家族介護者の集い(1回、参加者 62人)を開催しました。</p> <p>家族介護者へのヘルパー派遣については、利用者アンケートを実施した上で、利用時間を午後 6 時までから午後 8 時までに延長すること、及び利用時間単位を 2 時間単位から 1 時間単位とすることについて、要綱の改正を行いました。サービスの利用実績は延べ 2,046 時間でした。</p>	10,770,585
地域の見守り体制の整備	<p>区報でさわやかサポートの活動内容を特集し、相談窓口の周知を行ったほか、先駆的事例の収集を行い、事例集(1,400部)を作成しました。</p> <p>地域での見守り体制づくりのための助成(19自治会・町会)をしました。</p>	27,241,895
介護保険施設等の整備支援	<p>特別養護老人ホームの整備を支援するため、2か所の施設(フロース大森南 80床、千里 64床)について、貸付金金銭貸借契約を締結しました。</p> <p>認知症高齢者グループホームの整備支援については、整備中であった 4か所の認知症高齢者グループホーム(アイケア大森東:定員 15人、東京大田の家:定員 18人、フラクタルビレッジ西六郷:定員 18人、フラクタルビレッジ羽田:定員 18人)の完成に伴い、介護保険法に基づく指定を行い、開設しました。また、整備支援を行うための公募、選定を行い、フラクタルビレッジ大森南が竣工しました。</p>	1,171,255,498
高齢者の就労促進・起業支援	<p>高齢者就労支援体制整備に向けた調査を区民及び区内企業に対して実施し、それぞれの意向や要望の把握を行ったほか、事業の周知とニーズ把握のためのイベント「高齢者等就労・社会参加支援フェア」(1回、来場者 310人)を開催しました。</p> <p>高齢者就労支援センターについて、運営主体候補を決定しました。</p>	500,000

事業名	内容	決算額（円）
介護予防の促進	<p>高齢者の介護予防を促進するため、アンケート調査(介護予防基本チェック、128,605 件)を実施しました。また、通所型介護予防教室(80 教室、参加者延べ 3,552 人)の開催や、訪問型介護予防個別指導(29 人)を行いました。さらに、うつ予防やうつ支援事業として、対象となる高齢者(416 人)を訪問してアセスメント(看護診断)を実施することにより、早期発見と医療機関への紹介や介護予防事業の勧奨等の対応を行いました。</p> <p>元気な高齢者向けに、20 か所のさわやかサポートで介護予防教室(251 回、参加者延べ 3,391 人)、本門寺公園等で公園体操講座(15 回、参加者延べ 840 人)、認知症予防教室(2 日制 4 回、参加者延べ 156 人)、いきいき脳トレーニング教室(6 日制 1 回、10 日制 1 回、参加者延べ 126 人)、認知症予防講演会(1 回、参加者 216 人)を開催しました。</p> <p>公園体操地域指導員養成講座(16 回、参加者延べ 285 人)、説明会(1 回、参加者 28 人)を開催したほか、介護予防サポーター養成講座(基礎編 3 日制、参加者延べ 46 人、中級編 4 日制、参加者延べ 78 人)を開催しました。</p>	211,839,937
さわやかサポート(地域包括支援センター)の拡充と福祉ネットワークの強化	<p>さわやかサポートと区の施設との併設について検討を行い、さわやかサポート六郷中を六郷特別出張所の改築と併せて併設する計画を推進しました。さわやかサポート相談担当職員を対象に、研修を開催(3 回、参加者延べ 41 人)したほか、地域力推進地区委員会への出席を促進し、地域との連携強化を図りました(18 か所出席)。</p>	624,286,397
高齢者総合相談体制の構築	<p>高齢者の相談にいつでも応じることができるよう、区窓口が閉庁している時間帯に高齢者ほっとテレフォンを実施し、相談(相談件数 2,300 件)に対応しました。</p> <p>高齢者総合相談体制を構築するため、各課題と進め方について整理し、推進体制を整備しました。さわやかサポートと区のシステムネットワークを早急に取り組んでいく課題として、これに係る検討を行いました。</p>	8,694,000

事業名	内容	決算額（円）
高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	<p>高齢者相談の連携体制を構築・推進するため、課題である緊急支援体制の構築について検討を行いました。緊急支援体制の構築に向け、現場の問題点と課題を抽出したほか、緊急支援を必要とする場合の対応マニュアルを整備するため、困難事例のとりまとめ等を行いました。</p> <p>緊急ショートステイの受入れ施設 2 か所と、現状把握及び課題検討のための共同会議を行いました。年間を通した利用率は50%程度であり、現状の 4 床からの増床の必要性は今後の検討課題であると整理しました。</p>	10,756,720
高齢者等の権利擁護の推進	<p>成年後見制度やその相談窓口及び高齢者虐待防止に関する通報窓口を、区報や介護保険事業者連絡会等で周知しました。</p> <p>家庭裁判所に対し、成年後見制度に関する区長申立て(32件)を行いました。</p> <p>社会福祉協議会成年後見センターにおいて、法人後見(13件)を受任したほか、成年後見制度の活用に向け、窓口相談(1,047件)、専門相談(38件)、成年後見人養成講座(5回、参加者延べ74人)を実施しました。</p> <p>地域福祉権利擁護事業(58件)と同事業の対象拡大サービス(証書等預かり・支払い代行、17件)を実施しました。</p>	25,727,178

国際化推進

事業名	内容	決算額（円）
多文化共生推進センターの整備	<p>平成 22 年 9 月、消費者生活センター内に大田区多文化共生推進センター（通称 mics おおた）を開設しました。</p> <p>開設後、13 カ国語での生活相談や、日本語教室の開催（毎週日曜日全 8 回を 1 期とし、3 期実施）、区関連施設への通訳派遣、区へ提出する書類の無料翻訳、多文化交流事業（2 回、世界フルーツパーティ、フィリピンズデイインジャパン）等を実施し、多文化共生の拠点として積極的な運営を行いました。</p>	26,354,881
外国人のための日本語教室の充実	<p>日本語ボランティア養成講座（20 回、参加者延べ 708 人）等を実施し、新たに 3 つの日本語教室が立ち上がりました。</p> <p>外国人に対する日本語習得支援として、5 つの日本語教室の連携により、学習者の出身国、年齢、性別に合わせた指導員配置や、育児中の学習者でも気軽に参加できるように保育を付ける等、学習者のニーズに応じた日本語教室（3 期、参加者延べ 372 人）を実施しました。</p>	2,448,141
身近な暮らし情報の発信	<p>リビングガイドの平成 23 年度改訂に向けて、大学と連携し、外国人に対する情報提供のあり方について検討を行いました。</p> <p>外国人向け情報誌「Warbler」を「OtaCityNavigation」に改め、タガログ語の翻訳版も加える等、内容を充実させました。</p>	159,916

自治会等の地域活動について

事業名	内容	決算額（円）
NPO・区民活動フォーラムの開催	<p>区民の地域活動への参加を拡大し、区民活動団体と行政、企業間の連携を促進するため、NPO・区民活動フォーラム(1回、来場者 1,232人)を開催しました。</p> <p>区民活動団体の活動を紹介するパネル展示や、団体の活動に役立つ講座(4回、参加者延べ 156人)、区民活動団体提案型オリジナル講座(5回、参加者延べ 268人)のほか、区民活動支援施設蒲田(通称 mics おおた)と連携した企画を実施しました。</p> <p>NPO や区民活動団体による運営に段階的に移行するため、フォーラム開催中に、一部講座を区民活動団体主催で実施しました。</p>	501,962
区民活動情報サイトの整備・活用	<p>地域の区民活動に関する有益な情報をインターネットで集約・発信するサイトを構築するため、区民活動情報サイト検討会(5回)を開催し、サイトの構成や愛称等の検討を行いました。サイトの愛称を、「オーちゃんネット」とし、平成 23 年 1 月に運用を開始しました。登録団体は、282 団体となりました。</p> <p>ホームページへの掲載等により、登録団体募集のPR活動を行ったほか、区民活動団体向けの説明会(2回、参加者延べ 69人)を開催しました。</p>	2,819,348
地域活性化事業への支援	<p>自治会・町会が他の区民活動団体等と連携して実施する事業を支援する仕組みとして、地域の防災・防犯を高める事業(16自治会・町会)、コミュニティの形成に役立つ事業(37自治会・町会)、地域の福祉力を高める事業(4自治会・町会)に助成しました。</p>	5,642,280
区民活動・地域活動を支援する拠点の整備	<p>(仮称)区民活動支援センターについて、区民活動団体との懇談会(3回)、利用調整会議(3回)、準備会(4回)を開催し、教室・多目的スペースの活用方法、企画イベント等の検討を行いました。平成 22 年 9 月に、消費者生活センター内に区民活動支援施設蒲田(通称 mics おおた)を開設しました。</p> <p>(仮称)地域力センターについて庁内検討を行い、概要案を作成しました。</p> <p>区民活動やその連携・協働に関する基本的な知識・技能をもった人材を養成するため、区民活動コーディネーター養成講座(7回、研修生 30人)を開催しました。</p>	4,270,136
自治会・町会会館の整備助成	<p>自治会・町会活動の充実を図るため、町会会館の修繕について、助成(5件)しました。また、平成 23 年度に助成するために、新築等(1件)、修繕(1件)の交付決定を行いました。</p>	8,005,610

子育て関連施設の整備

事業名	内容	決算額（円）
家庭福祉員制度の充実	自宅で2歳未満の乳児を対象に保育を実施する家庭福祉員（保育ママ）を新規に9人認定し、保育定数を拡大（前年度比19人増）しました。家庭福祉員に、運営費等を助成しました。	109,450,314
認証保育所支援	低年齢児保育や長時間保育等のニーズに応えるため、認証保育所の整備助成を行い、新たに2か所の認証保育所が開設されました（総数34か所）。新規開設及び開所済み施設に定員拡大を働きかけた結果、総定員数が1,262人（前年度比67人増）となりました。	1,256,300,573
区立保育園の改築・改修の推進	鶉の木保育園について、区立千鳥幼稚園の跡地を利用して改築工事を行い、竣工しました。平成22年9月に開園し、10月から定員を拡充（22人分）しました。 （仮称）新鶉の木保育園の新設及び入新井保育園の改築については、既存園舎解体等の工事を行いました。 西六郷児童館の保育園転用改修工事、みどり保育園耐震補強等改修工事、中央五丁目土地の保育園建設地擁壁工事を行い、西六郷児童館の保育園転用改修工事については竣工しました。 保育園改築等基本計画を策定し、保育需要の変化に対応可能な施設設計等の基本的な考え方を整理しました。	1,223,932,895
女性の就労支援（再チャレンジ等）	女性の働く意欲と能力を活かして再就職や起業にチャレンジできるように、働きたいママのための再チャレンジ応援ナビ（3回、参加者延べ78人）、お仕事復活ナビ（3回、参加者延べ82人）、ふち起業サポート塾（5回、参加者延べ117人）を開催しました。 ワーク・ライフ・バランスの啓発のため、講演会「社会も家族も幸せにする秘訣」（1回、参加者181人）、パパの手でつくる赤ちゃんのハッピースマイル講座（4回、参加者延べ90人）を開催したほか、パネル展を実施しました。 働く女性のための相談を実施しました（相談件数130件）。	1,384,100
学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実	フレンドリーおおたを充実するため、池雪小学校の空教室を使用していた仲池上児童館池雪分室を近隣（東雪谷五丁目8番7号）に移転し、学童保育室の面積を拡大しました。これに伴い、受入数が増加（15人）しました。 廃園後の区立幼稚園舎を「おおたっ子ひろば」として開設（6施設）し、学童保育児童の受入数が増加（110人）しました。	835,679,689

防災対策

事業名	内容	決算額（円）
地域防災活動の支援	<p>災害時における区民の自主的な活動体制を確立するため、防災市民組織(211 組織)や市民消火隊(144 組織)が訓練等を実施する場合等に助成しました。</p> <p>職員が地域の防災訓練に参加し、起震車、煙体験の派遣(259 回)や防災パンフレットの配布を通じた「自助」の重要性の呼びかけ、及び仮設トイレ組み立て指導(20 回)等を通じた「共助」の呼びかけを行いました。</p>	77,653,407
防災情報基盤の整備	<p>防災行政無線で区内全域への放送を実施する際に、その放送内容を区民安全・安心メールサービスを利用して携帯電話に通知するサービスを開始しました。区民安全・安心メールサービスの登録数は 45,030 件(前年度比 14,531 件増)となりました(防災無線の情報取得サービスの登録数は 19,459 件)。</p> <p>また、デジタル防災行政無線親局設備を本庁舎に整備しました。さらに、難聴対策として新規屋外拡声子局(31 か所)を整備したほか、老朽化設備(38 か所)を改修しました。</p>	339,845,877
橋梁の耐震性の向上	<p>新馬込橋の詳細設計委託、西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋の調査、道々女木橋、清水窪歩道橋の調査、設計を完了しました。</p> <p>仲ノ橋、八幡橋、大森東避難橋、町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋、薬師跨線人道橋については、工事を継続的に施工中です。</p>	378,713,920

道路の整備

事業名	内容	決算額（円）
身近な地域の魅力づくり	「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第1号線の鉄道蓋掛け工事を継続的に施工しているほか、土地開発公社から用地(583.94㎡)を買戻しました。	1,899,181,998
都市計画道路の整備	交通円滑化を図るとともに、安全で快適な歩行者空間を確保するため、補助44号線について、復元測量、管理舗装を完了したほか、契約買収(2画地、182.61㎡)、土地収用法の裁決申請(1画地、9.55㎡)を行いました。さらに、土地開発公社から用地(347.39㎡)の買戻しを行いました。補助43号線については、土地利用履歴調査を実施しました。	303,244,817
京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備	関連街路用地の2画地(計23.47㎡)について地権者と契約し、用地契約率が88.4%となりました。また、土地開発公社に依頼して先行取得した画地(189.56㎡)を買戻しました。 東京都受託分の関連街路用地を土地収用法の和解により1画地(56.56㎡)取得しました。受託分用地契約率は96.9%です。 補助線街路第328号線の境界確認調査、電線共同溝及び街路整備詳細設計等を実施しました。また、東京都からの受託事業である空港線付属街路第1号線の境界確認調査、道路整備詳細設計等を実施しました。	1,033,229,303
呑川緑道の整備	水と緑の輝きや四季の変化を楽しめる散策路を整備するため、緑道整備工事(373.4m)及び実施設計(140m)を完了しました。 サイン整備について、種別、設置位置等の検討を行い、呑川緑道サイン基本計画を策定しました。	43,787,609
桜のプロムナードの整備	水と緑のネットワークの充実を図るため、散策路整備工事(123.1m)を完了したほか、桜の植栽(1本)を行いました。 サイン整備について、種別、設置位置等の検討を行い、桜のプロムナードサイン基本計画を策定しました。	38,705,641